



市内一円、走り回った廃品回収(1980年代)

麦の芽共同作業所時代から37年目 “きょうどう”の原点を深める 今だからこそ資源回収運動

「廃品回収は、初代専従の中村(現 麦の芽福祉会専務理事)を中心に、市内一円(1000軒近い方々)を対象に、また市役所・県庁・企業・労組等にもアプローチして取り組んでいた。作業所のある永吉町内では7〜8割の家が供出してくれるほどの拡がりであった」(麦の芽30周年記念誌「麦の芽共同作業所は何もないところから始まった」より)

廃品回収(現在は資源回収)と聞いて「懐かしい」と思われる方もおられるかもしれません。30余年前は鹿児島市内でも「麦の芽のポンコツ?」トラックで廃品回収は有名だったそうです。

麦の芽がまだ無認可だった頃から、主な資金づくり活動で行なっていたのが資源回収やバザー、物販(ギフト・カレンダー)、ボトルカンパでした。それらは、協働しながら、

共同して、協同をつくる、地域や人との関係をつくり守っていく活動として、今も続けています。

しかし、なぜ今、改めて資源回収か?という、地域や人との結びつきがじわじわと希薄になりつつある昨今の世の中、双方が応答する機会や場が消えつつあるように思っています。

互いの顔がみえる、じかに言葉をかわす機会を資源回収というふれあいの場でも二度取り戻したい。

人や地域との関係を守り、新たなつながりをつくり、新たなつながりをつくり、かつてのような「御用聞き資源回収」を再開します。

資源回収に回ってほしいお宅、地域、事業所の方、遠慮なくお申し出ください。

一同、喜んでお伺いします。

【問い合わせ】
むぎのめを支える会
099(244)6022



「福祉生協むぎのめ」で みんなの願いを実現しよう!

福祉生協むぎのめは、前身である協同の組織むぎのめの理念を引き継いだ。組合員一人ひとりのねがいの組織です。

1981年「こんなに重い障害があろうとも動きたい」という障害を持つ人たちの願いと「0歳児からの療育の場を」という親たちの願いを全県11万人の支援のもと、療育の場と働く場が実現したことから始まりました。

以来、今日まで、本来の福祉のあり方を追求しつつ、地域の中で誰もが安心して暮らせる場づくりやコミュニケーションづくりを目指してきました。

これからは、組合員さん一人ひとりが出資し、その出資金を元手に、より文化的で平和な暮らしづくりのための組合員活動をつくり、組合員さん自身が参加し、運営していくことを、福祉生協むぎのめは目指しています。

みなで出資し、みなで参加、みなで運営する

【加入の手続き】
■趣旨に賛同される方、活動に参加したい方、事業所を利用したい方は、加入申込み書とともに、出資金1000円以上(101000円)を納めていただきます。組合員になります。

出資金は、事業の運営や拡充に使われます。また、出資金は退会時に返還されます。

■年齢の制限はありません。

■出資金の増資は、10000円から、随時申し受けます。

【もっと福祉生協のことを知りたいー何でもQ&A】
Q. 加入のメリットは何ですか?
A. 通常考えられるメリットは、例えば、ポイントを貯めて欲しい商品が手に入るとします。このことは、その人の利益と、ひいては企業の利益に他なりません。一方、福祉生協では、自分たちがやりたいこと、組合員活動、をみんな

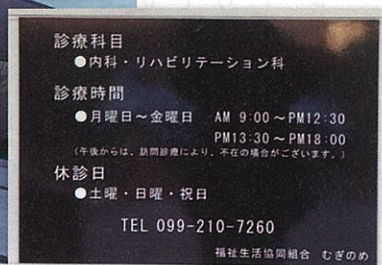
※事業の拡充とは…
子ども分野→保育園認可や保育園つくり
学齢期分野→学校法人化、寮づくりや体育館づくり
青年期分野→職人村づくりや県内の買物支援事業づくり
老人器分野→2号3号のついででおこめのあるホームづくり
その他→市民民団体のための子育て福祉研究所、研修センターづくり
※指宿・薩摩川内でも組合員活動動向へんが12月から始まる予定です。

待望の「ひとむぎ診療所」が吉野温泉前にオープン!



ひとむぎ診療所院長
斎藤 裕

「ひとむぎ診療所」が12月3日(月)開院です! 皆さんが(私も)待ちに待った診療所です。構想から〇〇年、みんなの願い、夢が実現するまで多くの人の努力と時間が必要でした。麦の芽での医療施設は初めてであり、計画から完成までの道のりは平坦ではなく紆余曲折、困難ありでしたが、あきらめない精神で乗り越えて



できました。関係者の皆さんご苦労さまでした。特に赤崎理事には行政機関への開設申請や予算交渉などで大変だったと思います。ありがとうございます。いしました。

【ひとむぎ診療所】の理念は、「二人ひとりの違いを尊重し、いのちの質・幸福度を高める」です。人は皆違つて当たり前で、この世に今までも、そしてこれからも同じ人は現れません。病気や障がいがあってもいのちの質(生活や人生の質)を高め、人生の最期まで幸せと感じることが大切です。

基本方針は
①かかりつけ医として、外来、在宅(施設)で診てゆきます。
②病気の予防、早期発見、治療・リハビリから人生の最期まで診てゆきます。
③他の医療機関と連携しながら診てゆきます。専門的医療が必要な場合は専門医療機関へ紹介します。

かかりつけ医とは「何で

も相談でき、最新の医療情報を熟知して、必要ときには専門医、専門医療機関を紹介でき、身近で頼りになる、地域医療、保健、福祉を担う総合的な能力を有する医師(日本医師会などの提言)とされています。

対象になる病気としては、風邪やインフルエンザなどの感染症、生活習慣病と言われる高血圧症、糖尿病、脂質異常症など。がんなどの悪性腫瘍、その他呼吸器疾患、消化器疾患、神経疾患などです。精神疾患や整形外科疾患は他の専門医療機関と連携しながら診てゆきます。リハビリにも力を入れ、外来や訪問でリハビリします。各種予防接種、健康診断もしてゆきます。

医療は患者さんと医療者との協働作業です。患者さんは病気に向き合い、医療者は患者さんをチームで支えてゆきます。何より患者さんと医療者との信頼関係が大切です。皆さんと共に新しい診療所に魂を入れてゆきましょう。

(さとう ゆたか)

福祉生活協同組合 ひとむぎ診療所

理念

一人ひとりの違いを尊重し、いのちの質・幸福度を高める

基本方針

①かかりつけ医として外来在宅で診てゆきます。
②病気の予防、早期発見、治療・リハビリから人生の最期まで診てゆきます。
③他の医療機関と連携しながら診てゆきます。専門的医療が必要な場合は専門医療機関へ紹介します。

在宅診療

◆身体・健康上の理由で通院が困難な方、病院退院後自宅療養を送りたい方、最期の時を住み慣れた家で家族と一緒に過ごされたい方などのために、在宅で自分の思う療養生活を送れるように、患者様の自宅までつかがて診療を行います。

診療

外来診療:内科・リハビリテーション科
◆内科全般・予防接種
◆健診・雇用時の健康診断定期健康診断
◆運動器リハビリテーション
◆脳血管疾患リハビリテーション

午前/9:00~12:30
午後/13:30~18:00(訪問診療含む)
休診日/土曜、日曜、祝祭日(盆、正月含む)

福祉生協むぎのめ加入、 増資者を 募集しております。

出資金:一〇1000円
(退会時お返しいたします)

会員特約:インフルエンザ予防接種割引・
各種診断書割引

※詳しくは、ひとむぎ診療所、
福祉生協むぎのめ事務所にお問合せください。

「福祉生活協同組合 ひとむぎ診療所」
〒892-0877 鹿児島市吉野1丁目40-26
☎099(210)7260 FAX099(210)7268